

プランクトン調査結果のお知らせ

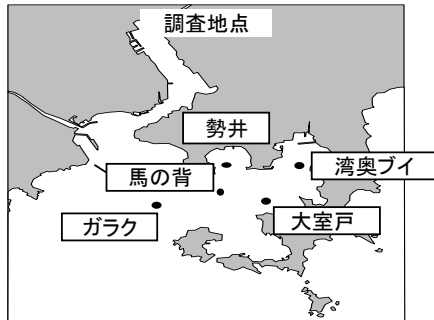
平成26年6月3日、野見・須崎湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で22cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で19cells/ml、カレニア・パピリオナセアが最高で4cells/ml、ケラチウム・フルカが最高で7cells/ml、デイクチオカ・フィブラが最高で2cells/ml確認されました。  
 天候が回復すると赤潮原因プランクトンが現状より増加する可能性もあります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	カレニア・ミキモトイ	カレニア・パピリオナセア	ケラチウム・フルカ	デイクチオカ・フィブラ
湾奥ブイ	0m	1	0	4	2	0
	2m	2	1	3	0	0
	5m	0	9	2	1	2
大室戸	0m	0	6	4	3	1
	2m	2	5	3	4	0
	5m	0	19	2	0	0
馬の背	0m	8	2	3	0	0
	2m	2	1	1	7	0
	5m	0	1	4	4	1
ガラク	0m	22	1	0	2	0
	2m	6	1	0	6	1
	5m	7	4	0	2	0



**漁業被害が想定される細胞密度**

- ヘテロシグマ・アカシオ：  
10,000～50,000cells/ml(魚類のへい死)
- カレニア・ミキモトイ(へい死)：数百～数千cells/ml
- カレニア・パピリオナセア：赤潮発生時(へい死)
- ケラチウム・フルカ：100cells/ml(餌食いの悪化)
- デイクチオカ・フィブラ：赤潮発生時(へい死)

「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>